

2019年07月(9編)

7月 2019のアーカイブ

「上げ三分に下げ七分」

上げ三分を狙って釣り行。

小あじ狙い。

入れ食い状態。

今年はアジがよく廻ってくる。

その内、アジを追ってタチウオが接岸してくるか？

期待が高まる。



2019年7月2日 カテゴリー：釣り 投稿者：yuyu-sha

2019年7月4日のアーカイブ

メリー・ポピンズ リターン & あの日のオルガン



メリー・ポピンズ リターン

第37回アカデミー賞の5部門で受賞した名作『メリー・ポピンズ』のおよそ半世紀ぶりとなる続編。(パルシネマ・ホームページより)

- ・監督・脚本：ロブ・マーシャル
- ・出演：エミリー・ブラント／リン＝マヌエル・ミランダ／ベン・ウィショー／エミリー・モーティマー／ジュリー・ウォルターズ
- ・2018年／アメリカ／MARY POPPINS RETURNS

あの日のオルガン

先の戦争末期、B29の飛来に備え保育士や園児たちの疎開を描いた実話。

戦時中の子供たちを扱った作品はいつも私の胸を衝く。

- ・監督・脚本：平松恵美子
- ・出演：戸田恵梨香／大原櫻子／佐久間由衣／三浦透子／福地桃子
- ・2018年／日本

(於いて；湊川パルシネマ)

2019 年 7 月 4 日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年7月6日のアーカイブ

[今が盛りの六甲のアジサイ](#)

六甲山のアジサイは今が見頃。

梅雨の合い間、森林植物園へ。

神戸の「市の花」はアジサイ。

咲き誇る花にコウベの品格が漂う。



2019年7月11日のアーカイブ

[クリント・イーストウッド監督「運び屋」](#)

パルシネマで「運び屋」と「万引き家族」を上映中。

私は「運び屋」のみ、「万引き家族」は既に鑑賞済み。

ワイフと映画館の前で別れ私は神戸の街なかへ。

「運び屋」が始まる頃再び映画館へ。

クリント・イーストウッド監督・主演の映画。

87才の薬物運び屋を88才のクリント・イーストウッド監督が演じる。

罪深き人生の辻褃合わせをクリント・イーストウッドは刻まれた皺の襷に映す。

この日の映画館は「万引き家族」目当ての人々で溢れていた。

クリント・イーストウッド

運び屋

THE MULE

前代未聞の実話



2019年7月11日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年7月12日のアーカイブ

腰を労る in 「すずらんの湯」

腰の状態が少し芳しくない。

久しぶりに近くの「湯」へ。

ジェットバスに患部を2回に分けて合計30ほど当てた。

心地よい気分に身をまかせる。

良い結果が出ることを期待しつつ、そそくさとランチへ。



2019年7月12日 カテゴリー：[スパー](#), [フード](#) 投稿者：[yuyu-sha](#) [編集](#)

2019年7月15日のアーカイブ

[うな重弁当](#)

過日鈴蘭台で昼弁当に「うな重」を出前した。

近くの「割烹音羽鮨 鈴蘭台出前センター」。
たかが？昼食だが私たちにとっては少し値が張る。
値段は言わぬが花！

と言いながら言う、2千円（税別）。

まだ裏がある、本日はサービス価格で千五百円。
旨い！

弁当もこのくらい出さなければ旨い味に出会えない。



2019 年 7 月 15 日 カテゴリー：[フード](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年7月19日のアーカイブ

[体育系に活路？](#)

家の前の大学で工事が始まった。

体育館をまた造るらしい。

いくつ目の体育館に なるのだろうか。

現在テニスコートを潰している。

少子化で四年制の女子大といえど生き残りは難しい。

体育系に活路を求めての策か？



2019 年 7 月 19 日 カテゴリー：[雑感](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年7月20日のアーカイブ

[平和美術展](#) in [県民会館](#)

7月18日木曜日雨降る午後・・・、コウベ。

美術展のチラシを見ていると知り合いの名があり、その名前に惹かれ、鈴蘭台への途上山手にある県民会館へ立ち寄る。

間断なく降る雨が鬱陶しい。

ワイフと館内へ。

透明感のある木彫りの作品を観てるといつか見たエーゲ海の青と白を思う。





2019年7月20日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年7月25日のアーカイブ

家へ帰ろう&バジュランギおじさんと、小さな迷子



家へ帰ろう

ナチの迫害を辛うじて逃れたアルゼンチンに住む男が、約束の再会を果たすため不自由な体に鞭打ちポーランドへ旅に出る。

ナチから救ってくれた恩人を探す旅は艱難辛苦。

ナチを生んだドイツへの憎しみを乗り越え旧ゲットー地区で感動の再会を果たす。

・監督・脚本：パブロ・ソラルス

・出演：ミゲル・アンヘル・ソラ／アンヘラ・モリーナ／オルガ・ボラズ／ユリア・ベアホルト／マルティン・ピロヤンスキー

・2017年／スペイン・アルゼンチン合作／El ultimo traje

バジュランギおじさんと、小さな迷子

今なお残るインドとパキスタンの確執。

インドへ迷い込んだパキスタンの少女をインドの青年がビザをもたず少女を親元に送り届ける艱難辛苦の旅。

権力の及ばぬパキスタンとインド民衆の心は一つ。

・監督・脚本：カビール・カーン

・出演：サルマーン・カーン／ハルシャーリー・マルホートラ／カリーナ・カプール／ナワーズブディーン・シッディーキー／シャーラト・サクセーナ

・2015年／インド／Bajrangi Bhaijaan

(於いて；湊川パルシネマ)

2019 年 7 月 25 日 カテゴリー：[鑑賞\(映画・演芸 etc.\)](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)